

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 世界農業遺産「能登の里山里海」を始めとした里山里海の活用・保全の取組を推進する。
- ・ いしかわ動物園におけるトキ公開展示に向けた準備を進めるとともに、新たな繁殖ペア受け入れのための施設を整備する。
- ・ 国民の関心が高まっている省エネ・節電対策の更なる充実強化に努めるとともに、下水道汚泥から発生するメタンガスを活用した発電を推進する。

◎重点主要施策の概要

- 本年5月29日から6月1日にかけて、能登で世界農業遺産国際会議を開催し、本県の元気な里山里海づくりに向けた取組とその魅力を国内外に広く発信し、世界農業遺産に対する理解促進と地域の活性化に資する。
- 北陸新幹線の金沢開業も見据え、世界農業遺産「能登の里山里海」の首都圏に向けた魅力発信を強化するため、首都圏の大手カルチャーセンター等と連携し、出前講座「のと學び」を開催するとともに、能登の特色ある商品の大手百貨店での販売や佐渡と連携したPR活動を実施する。
- 本年2月12日に取りまとめられた国の「トキ野生復帰ロードマップ」において、分散飼育地での公開の可能性について触れられたことから、いしかわ動物園における一日も早い公開展示に向けた準備を進める。
また、国からの繁殖ペアの更なる受入要請に応え、受け入れのための飼育繁殖ケージを増設する。
- 電力が逼迫する夏場の省エネ・節電対策として、今年度スタートした「省エネ・節電アクションプラン」の取組を促進するとともに、家庭のエアコンを消して公共施設や商業施設などの冷房空間を共有することにより、家庭の消費電力を節減する「クールシェア」の取組を推進する。
- 流域下水道の処理場において、下水汚泥から発生するメタンガスを活用した発電機の更なる増設により、温室効果ガス排出抑制と電力の売却による下水道経営の一層の安定化を図る。
また、市町が設置する小規模処理場においてもメタンガスを安定的に発生させることができるよう、実用化に向けた実験機での実証実験を行う。
- 中国からの飛来が懸念されるPM2.5（微小粒子状物質）の観測体制を強化し、県民の安全・安心の確保を図る。

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 省エネ・節電対策を始めとした地球温暖化防止の取組		
・ いしかわ版環境ISOの推進	16,000	省エネ・節電項目を充実強化して取り組む「省エネ・節電アクションプラン」の更なる推進 取組強化期間(7～9月)の取組実績に基づくエコチケットやエコギフト交付等インセンティブの付与 省エネ・節電に関する相談窓口の設置など
・ いしかわクールシェア推進事業費	3,500	夏季期間中、商業施設などの冷房空間を共有し、家庭の消費電力を節減する「クールシェア」の推進 取組期間 7～9月の3か月間 クールシェアスポット協力施設・店舗の登録 登録施設・店舗でのサービスの提供 クールシェアウィーク(取組集中期間)の設定
・ エコ住宅整備促進事業費補助金	31,000	省エネ性能の高い住宅(新築)及び住宅の省エネ設備の整備(改修)に対する助成 太陽光発電等を設置する場合は追加助成
・ エコリビング普及促進事業費	3,900	建物(ハード)・住まい方(ソフト)の両面から住宅の省エネ化を促進 エコ住宅、エコ改修技術者の養成 エコ住宅改修マニュアルの普及講習会の開催 ドイツハム市エコセンターとの技術交流
・ 企業エコ化促進事業費	4,000	企業のエコ化、エコ関連産業への参入に向けた気運の醸成 いしかわエコデザイン賞の表彰
・ エコドライブ推進事業費	600	企業・民間団体と連携したエコドライブの推進 エコドライブ推進事業所の募集・登録 優秀なエコドライブ活動推進事業所の表彰
・ 地球温暖化対策支援融資	新規融資枠 2億円	環境マネジメントシステムに取り組む中小企業者の地球温暖化防止に資する施設・設備等に対する貸付 融資限度額 5千万円
・ いしかわの森整備活動二酸化炭素吸収量認証事業費	1,000	企業等の森づくり活動成果を評価のうえ、二酸化炭素吸収証書を発行
・ 県民エコステーション事業費	24,388	地球温暖化対策活動の推進 環境フェアの開催、事業者版環境ISO制度の審査など 交流・活動支援、環境教育の推進 環境保全団体への活動費助成、講師の派遣など 普及啓発 環境情報の提供、環境ライブラリーの整備など

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 流域下水処理場メタンガス発電整備費	158,744	下水汚泥から発生するメタンガスを活用した発電機の整備 ◎梯川処理区翠ヶ丘浄化センター 4基整備
・ 小規模下水処理場メタン活用研究事業費	2,200	小規模・低コストのメタン発酵設備の実用化研究 中能登町下水処理場における実験機による実証実験
2 環境負荷の少ない社会づくり		
(1) 環型社会の形成		
・ ゼロエミッション推進事業費	3,628	アドバイザー派遣による企業の廃棄物減量化の推進、廃棄物の排出量実態調査の実施、自動車リサイクル法に基づく事業者指導など
・ リサイクル型社会構築推進事業費	557	石川県エコ・リサイクル製品の認定 H24.4.1現在の認定製品 102製品(47企業)
・ 不法投棄等不適正処理防止対策事業費	14,595	産業廃棄物監視機動班による監視・指導
・ PCB廃棄物処理対策事業費	15,039	環境再生保全機構の「PCB廃棄物処理基金」への出捐 基金総額560億円(国1/2 都道府県1/2)
・ 産業廃棄物処理推進費	7,181	産業廃棄物処理施設への立入調査・指導・放流水調査など 対象:190事業所(1~6回/年)
・ 産業廃棄物処理施設整備資金融資	新規融資枠5億円	中小企業者の産業廃棄物処理施設整備に対する貸付 融資限度額 5億円(最終処分場) " 1億円(焼却施設)
(2) 生活環境の保全		
・ 地盤沈下等対策費	11,344	地盤沈下の監視、地下水使用合理化の指導など
・ 水質環境基準等監視調査費	34,033	工場・事業場の排水水質監視・指導、河川・湖沼、海域の水質監視など
・ 飲料水安全確保対策費	2,753	飲用井戸の水質検査など
・ 河北潟水環境保全事業費	3,150	水辺植生の保全管理など
・ 生活排水処理施設整備普及促進費	142,455	生活排水処理施設整備普及促進費補助金 市町実施の生活排水処理施設整備事業への補助 金沢市以下12市町
・ 農業集落排水事業費	296,077 (うち第1次3月補正 247,183)	既存施設の改築等 新規9地区、継続2地区(◎東谷地区、◎大口地区、◎波佐谷地区ほか)

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 流域下水道の整備	744,344	犀川左岸流域下水道(犀川左岸処理区) 59,750千円 加賀沿岸流域下水道(梯川処理区) 273,094千円 加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区) 411,500千円
・ 県水送水管の耐震化(2系統化)	4,500,000	水道用水の安定供給と県民生活の安全・安心を確保するため県水送水管の耐震化(2系統化)を推進 (うち債務負担行為 500,000千円)
・ 鶴来浄水場の非常用発電機の整備	1,189,200	災害時に伴う停電時における県水の安定供給を図るための非常用発電機の整備 (うち債務負担行為 1,059,000千円)
・ ②PM2.5(微小粒子状物質)観測体制強化費	9,000	PM2.5測定局の増設(4局→7局) 増設局 輪島(奥能登総合事務所)、羽咋(羽咋地域センター)、大聖寺(大聖寺東町地内) 既設局 七尾(中能登総合事務所)、野々市(御経塚東公園)、松任(石川中央保健福祉センター)、小松(旧小松保健所)
・ 大気汚染監視費	77,260	大気汚染監視網管理費 62,376千円 環境測定局 16局 自動車排出ガス測定局 1局 移動測定車 1台 大気監視測定機器整備費 13,370千円 有害大気汚染物質監視調査費 1,514千円
・ 酸性雨調査費	1,341	陸水、土壌・植生モニタリング調査、酸性雨実態調査
・ ダイオキシン対策費	8,466	常時監視の実施 一般環境調査 大気、公共用水域の水質・底質、地下水、土壌 発生源周辺地区環境調査 一般廃棄物、産業廃棄物焼却施設周辺環境調査
・ 化学物質等環境汚染対策費	2,005	化学物質の環境中残留濃度実態調査
・ アスベスト対策費	14,427	石綿健康被害救済基金への拠出など
・ 環境影響評価審査費	1,138	「環境影響評価法」及び「ふるさと環境条例」に基づく環境影響評価方法書、準備書の審査
・ 環境保全資金融資	新規融資枠2億円	中小企業者の公害防止、リサイクル関連等の循環型社会づくりに資する施設・設備等に対する貸付 融資限度額 5千万円

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
3 世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・魅力発信を始めとした里山里海の活用・保全 ・ 世界農業遺産活用推進・魅力発信事業費	13,000	世界農業遺産「能登の里山里海」の活用と価値の向上に向けた保全の仕組みづくりの推進 首都圏向け魅力発信の強化 ⑨首都圏大手カルチャーセンターでの連続講座「のと学び」の開催、能登の特色ある産品の首都圏大手百貨店での販売、佐渡との連携による首都圏PR 生物多様性の保全 ⑩耕作放棄地のピオトープ化による生物多様性調査など
・ ⑪世界農業遺産国際会議開催費負担金	28,000	「世界農業遺産国際会議」開催委員会に対する負担金 日程：5月29日(水)～6月1日(土) 場所：七尾市和倉温泉 内容：ハイレベルセッション、県民向け記念シンポジウム、エクスカージョンなど
・ いしかわ里山創成ファンド事業資金貸付金	1,000,000	地元金融機関協力のもと創設した53億円の里山創成ファンドの運用益に、民間企業からの寄附金も加え以下の事業を実施することで、元気な里山里海地域の創成を図る (基金内訳 県10億円、地元金融機関43億円) 活用事業 里山里海の資源を活用した生業(なりわい)の創出 里山里海地域の振興 地域を元気にするイベント支援、資源循環モデル構築による地域おこし、里山景観の創造 多様な主体の参画による里山保全活動の推進 里山里海の恵みの大切さについての普及啓発
・ 里山のパートナーづくり推進事業費	6,000	企業等による里山づくりを促進させるためのセミナー・企業と里山の情報交流会の開催、都市住民による農村ボランティア活動の促進
・ いしかわ版里山づくりISO推進事業費	3,800	企業、団体、学校など多様な主体が取り組む里山里海の保全活動等を県が認証し、活動団体のネットワーク化を推進
・ 里山の森づくりボランティア推進事業費補助金	3,700	NPO、地域団体等が行う里山林等の保全活動への助成
・ 先駆的里山保全地区創出支援事業費	2,180	地域住民による里山の利用・保全の仕組みづくりへの支援 (能登町岩井戸地区、七尾市中島町鈍打地区、加賀市山中温泉東谷地区ほか)
・ いしかわグリーンウェイブ2013開催事業費	1,000	国際生物多様性の日(5月22日)にあわせた世界的な一斉植樹活動

平成25年度実質当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ いしかわ里山サウンドウェイブ事業費	2,400	MISIAをナビゲーターとした生物多様性保全への理解を深めるための普及啓発映像の作成など
4 自然と人が共生できる社会づくり		
・ ㊦トキ公開展示準備費	151,500	公開展示施設の基本構想の策定 3,500千円 新たな繁殖ペア受け入れのためのケージ増設 148,000千円
・ トキ分散飼育推進費	19,498	いしかわ動物園での飼育繁殖の実施
・ 人と野生鳥獣との共生推進事業費	2,863	人と野生鳥獣との共生に向けた生息調査と個体数調整等の実施 クマ・サル・イノシシ・ニホンジカの生息実態調査 ニホンジカの保護管理計画の実施評価
・ 大型獣対策事業費	2,710	里山周辺のクマ対策の推進とニホンジカ・イノシシの捕獲促進 里山周辺におけるクマ対策のセミナー開催 ニホンジカ繁殖実態等調査 ニホンジカ・イノシシ肉の利活用の推進(料理講習・試食会)
・ 石川の種の保存事業費	2,938	条例に基づく県指定種の保護と普及啓発 指定種のモニタリング調査 緊急性の高い指定種の保護増殖事業 指定種の普及啓発
・ いしかわ自然学校推進事業費	8,782	行政、民間団体、事業者が連携し、各種自然体験プログラムを提供
・ 国定公園等環境整備事業費	18,545	国定公園内の老朽化した施設等の改修 巖門園地の整備(県事業) 七尾城址公園の整備(七尾市事業)

環境部